

ミニ展示



渋沢栄一

もみた 藤 春日部の

令和3年

4/13(火) ~ 5/2(日)

関連企画「ミュージアムトーク」

学芸員による展示解説（申込不要）

令和3年4月17日(土)・25日(日)

両日共 10:30 ~、15:00 ~ (30分程度)



(M44)

Wistaria of Kasukabe.

花藤の壁和

渋沢栄一肖像（国立国会図書館所蔵）

明治44年（1911）彩色絵葉書 粕壁の藤花（現牛島のフジ）

春日部市郷土資料館

春日部市粕壁東 3-2-15 ☎048-763-2455

渋沢栄一だけじゃない!!

藤に魅了された人とまち。

①



～「世界一の藤」と春日部のあゆみ

毎年、4月中旬から5月初旬にかけて、市の花フジが見ごろを迎えます。このシーズンには、市の恒例イベントの藤まつり・藤テラス（令和3年度は中止）、国特別天然記念物の「牛島のフジ」が公開されるなど、多くの方々が藤の鑑賞に訪れます。

「牛島のフジ」は、近代には「世界一の藤」と称され、東京近郊の藤の名所として親しまれてきました。大河ドラマ「青天を衝け」の主人公^{しぶさわ えいいち}のみならず、^{あとみ}跡見花蹊（跡見学園創始者）、^{きょうら けいご}清浦奎吾（内閣総理大臣）、^{とくがわ あきたけ}徳川昭武（徳川慶喜実弟）、^た田山花袋（小説家）、「牛島古藤歌」を遺した^{みよし たつじ}三好達治（詩人）など著名な政治家・文化人が訪れました。^{だざいおさむ}太宰治の「斜陽」の作中にも、「牛島のフジ」が登場します。

春日部市では、昭和48年（1973）10月15日に市制施行20周年を機に、「牛島のフジ」にちなんで、藤が市の花に制定されて以来、ふじ通りの整備、藤まつりの開催、藤にまつわるグルメや特産品が創作されるなど、市を挙げて、藤を活かしたまちづくりが進められています。

本展示は、「万葉集」からマンホールまで”藤ゆかりの資料や写真・パネルを展示し、藤と春日部の歴史・文化を紹介します。

②



③



④



⑤



春日部市郷土資料館

春日部市粕壁東 3-2-15

☎048-763-2455



↑最新情報はブログ「はごログ」

図版①昭和5年世界一藤のかすかべ（当館蔵）／②市内のマンホール／③昭和30年春日部駅（埼玉新聞社撮影戦後報道写真・埼玉県立文書館蔵）／④平成6年藤サミットでの記念植樹（当館蔵）／⑤明治35年牛島の藤と徳川昭武一行（松戸市戸定歴史館所蔵）